

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1153	(H.25)No.	1153
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小学校教育振興費(学務管理室)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	472501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	小学校教育振興費
項	小学校費	(小事業名)
目	教育振興費	小学校教育振興費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
(理科・算数教材備品) 理科、算数に関する教育を実施するための設備を整え、児童の良好な教育環境を整備します。
事業内容
(理科・算数教材備品) 国の理科教育設備整備費等補助金(S29～根拠法令:理科教育設備整備費等補助金交付要綱)を活用し、理科、算数に関する教育を実施するための設備を整備します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<H.24繰越分> (理科・算数教材備品)小学校3校 1,212千円 <H.25現年分> (その他報償) 卒業証書丸筒 89千円	(理科・算数教材備品)小学校3校 1,215千円 (報償費)卒業証書丸筒 120千円	(理科・算数教材備品)小学校6校(報償)卒業証書丸筒	(理科・算数教材備品)小学校6校(報償)卒業証書丸筒	(理科・算数教材備品)小学校6校(報償)卒業証書丸筒

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	(1,212千円) 89千円	1,335千円	3,200千円	3,200千円	3,200千円
内訳(千円)					
国・県支出金	(606)	600	1,500	1,500	1,500
地方債					
その他()					
一般財源	(606) 89	735	1,700	1,700	1,700
人工数					
職員	(0.15人) 0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等	(0.02人) 0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	(1,189千円) 1,174千円	1,174千円	1,174千円	1,174千円	1,174千円
①+②総事業費	(2,401千円) 1,263千円	2,509千円	4,374千円	4,374千円	4,374千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
理科・算数教材備品については、国庫補助金を活用し整備を進めていますが、依然として国の充足率を満たしておらず、引き続き整備を進める必要があります。	理科・算数教育備品については、優先度や必要性の高い設備備品を中心に年次的に整備を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	国の理科教育設備整備費等補助金を活用し、理科、算数に関する教育を実施するための設備を整え、児童の教育環境整備に寄与しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
円滑な学習指導のため、今後も年次計画的に各学校の備品の整備を進める必要があり、国の整備基準をもとに、理科・算数の設備をより充実させていきます。	